

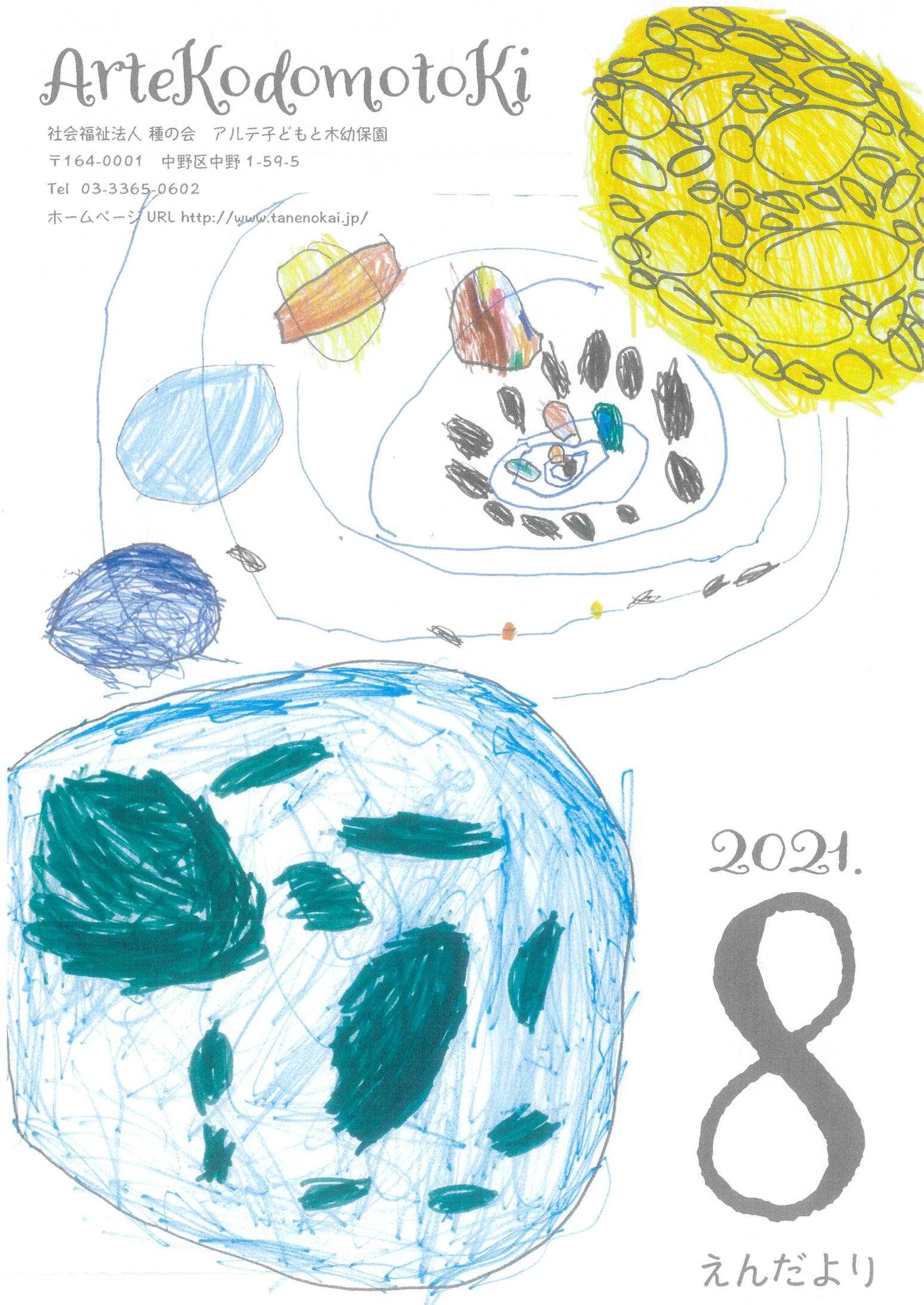
ArteKodomotoKi

社会福祉法人 種の会 アルテ子どもと木幼稚園

〒164-0001 中野区中野 1-59-5

Tel 03-3365-0602

ホームページ URL <http://www.tanenokai.jp/>



2021.

8

えんだより

お知らせ

- 欠席等の連絡は必ずお電話にてお願い致します。登降園アプリ（チャイルドケアウェブ）のメール機能は使用しておりません。ご注意ください。
- 夏休みのご予定の連絡ありがとうございました。それ以外のお休みもご予定が決まり次第ご連絡いただくと食数の調整が出来て、フードロスを減らす事ができます。可能な限り早めのご連絡をお願い致します。
- 熱が出ていないのに、他の症状で新型コロナウイルス陽性となるケースが出てきております。家庭内感染が多いことから、ご家族に発熱以外の体調不良が見られる場合もお子様の登園はお控え下さい。
- 9月1日は予定通り、引き取り避難訓練を行います。大災害を想定した避難訓練を行い、そのまま保護者のお迎えを待ちます。年に一度の訓練となりますので、ご協力頂きますようお願い致します。詳細は後日お知らせ致します。

August 8 2021						
sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
1	2	3 音楽あそび	4	5	6 発育測定	7
8 山の日	9 振替休日	10 音楽あそび	11	12	13	14
15	16	17 音楽あそび	18	19	20	21
22	23	24 音楽あそび	25	26 避難訓練	27 誕生会	28
29	30	31 プール納め	9/1 引き取り訓練			

Special Summer Memory

2021年 どんな夏でしょう？

園長 山田寿江



夏といえば、どんなことを思い浮かべますか？

それぞれに忘れられない夏の思い出があるかもしれませんね。

幼い頃、お盆に両親の故郷へ行くことが恒例となっていた私は、“田舎”で川遊びや虫取りを楽しみ、畑のスイカをほおばったものです。その頃苦手だった丸茄子の漬物も今では美味しくいただきます。夏祭りやお墓参り、キャンプや花火などいろいろなことが思い出されます。

近年は猛暑が多発、異常気象による自然災害も発生し「長く生きてきて、こんなこと初めて」と語る方が多いのも特徴的です。昨年は、感染症対策で帰省や旅行を控えた方が多かったことと思います。遠く会いたい人とのつながりに、テクノロジーを駆使してコミュニケーションを図ってこられた方もいらっしゃったのではないのでしょうか。

多くの花火大会が中止となった昨年、園ではホールの天井に映像を投影しバーチャル花火大会を開催しました。子ども達は大喜びでしたが、体の芯に響く本物を体感して欲しいと強く思ったものです。

新しいことに出会う夏

今年は、感染症対策を取りながらプールや海など夏のレジャーを楽しむ様子が伝わってきています。園でも水遊びやプールを実施し、水の冷たさを肌で感じています。キラキラ光る水の美しさが感性を刺激し、氷や浮力など水の変化や面白さも体験しています。園だよりの特集となっています。

いつもと違った体験ができる夏、家族で過ごす夏、子ども達の大好きなおばけも日本では夏に登場！子ども達にとって心に残る特別なシーズンであって欲しいと願っています。

多様性と調和（Diversity and harmony）～それぞれの主役がつながる～

“どの人にも希望の持てる大会を”とオリンピックが開催されています。ひたむきに努力し真摯に立ち向かっていく姿に感動し励まされることもありますし、尊敬の念を抱きます。諦めずに壁を乗り越えようとする事で自分を高め、人としての成長につながっていくのだと感じています。

子ども達もまた日々新しいことにチャレンジし成長し続けています。「こんなことがしたい！」と次へつながる希望を持つことがエネルギー源です。一人ではできないことも友だちとならやってみようと挑戦し、失敗しても「次はこうしてみよう」と気持ちを切り替えていきます。子どもから学ぶことも多く、大人にも大切なことを教えてくれる子ども達です。

ワクチン接種が進みつつあるものの感染拡大も懸念されています。アスリートだけでなくそれぞれの立場で困難に立ち向かい、信念を貫いて尽力している人が大勢いるのだと思います。人生の主役は自分ですが、結果が得られない時こそ人と対話し、力を合わせて前へ進んでいくパワーを得たいですね。職員は半数以上がワクチン接種の2回目を終えました。



お花を中に入れた氷を作って、各クラスに置いてみました。

0・1歳児は、慎重に手を伸ばして、冷たさを感じると保育者の顔を見つめ、安心するとまた手を伸ばすという姿や、少し離れた所から見つめている姿がありました。

2・3歳児は「これ何？触っていいの？」「お花キレイね」「どうやって出すの？」と保育者とおしゃべりしながら観察を楽しんでいました。

4・5歳児は、なんとかしてお花を出したいという思いが強く「お花は温かいところが好きだから、氷の中にいたら寒くて可哀想でしょ」と言いながら手で氷を温めました。ところがあまりにも冷たいので、雑巾を持ってきて氷を包み手で擦ることにしました。

息を吹きかけて溶かそうとする子ども達もいました。どうして息を吹きかけると氷が溶けると思うのかと尋ねると「だってフーってしたら温かいでしょ！フ～フ～フ～。あれ？」自分の手に息を吹きかけてみました。

「やっぱり冷たい息もあるみたい」と考えます。

隣にいた4歳児は「氷を溶かすなら任せて！今、私が太陽の絵を描いてあげる！すぐに氷が溶けるわ。そして隣には火を吹くドラゴンを描いてあげるわよ」と夢中でペンを動かしていました。

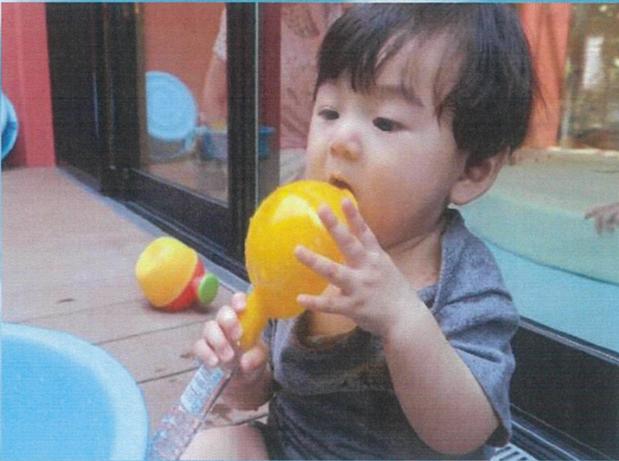


“どうやって中のお花を出そう”というひとつの目的が生まれると、子ども達は試行錯誤しながら遊びます。面白かったのは、必ず複数で遊んでいたことです。友達とこうしたら良いんじゃない？と提案し合ったり、ここを押さえていてと頼んだり、協同する楽しさを味わう姿が4・5歳児らしい姿だと思いました。

今月の表紙は5歳児がZEROのプラネタリウムで観た太陽系の絵です。この絵を描いたRくんは5月頃から12星座の絵本が大好きになり、何度も星座の神話を読んでほしいと頼まれました。プラネタリウムで宇宙への興味が広がると、図鑑を読むことが楽しくなり、知りたいという思いから自分で文字を読み始めました。調べたことを描くことも楽しむようになりました。“知りたい”という思いが“楽しみながら学ぶ”ことにつながった素晴らしい姿だと思います。

主任 黒木

Atao

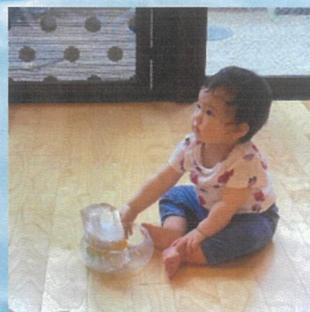
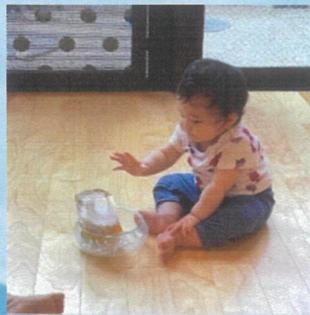
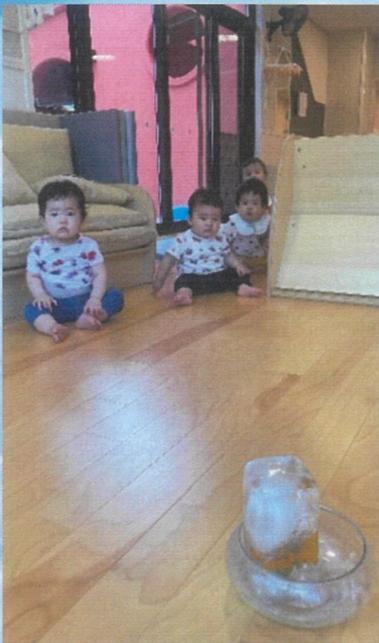


はじめての水遊び

0さいアート組の子ども達にとって、はじめての水遊び。プール開きの日、とても楽しみにしていたのですが、子ども達はあまり体調がすぐれず、結局、元気なKくん一人が水遊びをしました。最初は水遊び用の玩具に興味津々のKくんでしたが、タライに少しだけ水を張ってみると、おそろおそろ手を伸ばして感触を確かめ始めました。怖がる様子は見られず、保育者がジョウロからシャワーのように水を出すと、ニコリ可愛い笑顔を見せてくれました。

お部屋に小さなプール？

水遊びができない子ども達のために、お部屋に小さなプールを用意。そう、タライの中にたくさんのボールを入れたボールプールです。保育者が運んでくると「お？」「なに？」という表情。すぐに近付いて両手に持つHちゃん。Aくんは興味はあるものの戸惑い気味……。でもお友達が遊んでいる姿を見て安心した様子。自分からボールを触り始めました。保育者にボールを手渡すことが楽しく、何度も繰り返すCちゃん。プールの中に入ると何ともいえないこの表情……。不思議な感覚だったのでしょうか？Yちゃんは、みんなが遊んでいる様子を保育者の後ろに隠れながら、笑って見つめていました。子ども達によって反応は様々です。



なにかある・・・おはな？

実は牛乳パックで作った大きな氷です。中には可愛い向日葵のお花が！？そっとお部屋に置いてみました。遠くの方からじーっと見つめる子ども達。“なに？”“不思議なものがある”戸惑いの表情を浮かべ、なかなか近付くことができません。気になって少し進んでみたり、また後ろを向いてみたり、様子をうかがっています。しばらく時間がかかり、やっと氷にたどり着いたCちゃん。そおーっと触ってみましたが、初めての感触に不安そうな表情を浮かべました。でも保育者の顔を見ると一転、安心した表情に……。そして、触って濡れた手を保育者に見せていました。冷たかったことを教えたかったのかもかもしれません。

水遊びはなかなか出来なかったけれど、ボールプールや氷遊びをして少しだけ夏の遊び気分を味わいました。初めての感覚、感触を体験。子ども達にとって良い刺激になったのではないのでしょうか。でも、せっかくの暑い夏！元気になった子ども達と一緒に水遊びをする日が待ち遠しいです。

Atta 1



何するのかな？ 待ってました！！

テラスの前に水遊び用の玩具を置いていたので、窓を覗いては指を差し、「あっ」と保育士や友達に何だろうね？というように声を掛けたりしていました。又、ロッカーには今までなかったプールバックが掛けられていて、色々な柄に興味津々です。触ったり持ったりして、早く使いたい気持ちでいっぱいでした。友達の物も魅力的で手にすると、「ぼくの！」「私の！」と大きな声で言われたり、返して！というように引っ張り合ったりする様子もたくさんみられます。自分の物、友達の物というのが少しずつわかるようになってきたので、自分で見つけて準備をする姿も見られ始めました。プールバックが窓際に準備されると、水遊びが始まると気付きバッグから帽子を取り出して自分で被り、準備出来たよ！とアピールしています。

水って冷たい 気持ちいい

初めてテラスに出たときは、靴履いていないのにいいの？何するの？というように不思議そうにしながらそーっと出ていました。裸足で砂利の上を歩きタライの方に行くのも、味わったことのない感触が足にあるようでゆっくり一歩一歩進んでいました。毎日遊んでいるとすぐに慣れ、砂利も使って食べ物に見立て水遊びを行っています。

最初は気になっていた玩具を両手いっぱいを持っていましたが、タライに手を入れてバシャバシャしてみたり、水を掴んでみようとしてみたりします。水に触れる楽しさを知っていくと、体全体で水の冷たさを感じながら遊んでいます。

保育士がシャワーの雨を降らせたり、友達がバシャバシャしている水がかかったり、顔にかかっても平気な友達がいたり、「やだー」と泣きそうな声を出す友達もいます。最初は保育士に助けを求めていましたが、遊んでいくうちにかかりそうな時は濡れない場所に行こうとするなど、自分で気付いて動き楽しく遊べるように行動する様子もみられます。



色水遊びや泥遊びなども今後行っていき、体全体で感触を楽しみながら活動していきたいと思います。

Pica2



～これまでの経験が遊びに活かす～

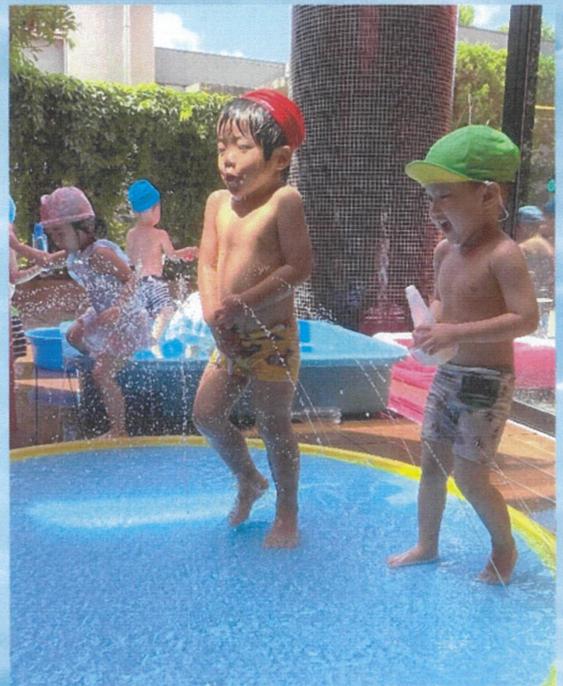
「洗濯物ですよ～、洗ってくれる？」その一言で洗濯遊びが始まりました。おままごとで使っているエプロンを渡すと、喜んで泡水に入れゴシゴシ洗い始めた子どもたち。「きれいになった？」と聞くと「ん～まだ！！」と頑固汚れに格闘するお母さんのようです。保育者に教えてもらわずとも、洗う、すすぐ、絞る、干すという行程をこなしていました。家庭での出来事をよく見ていることがうかがえます。

今度はカラフルに色づいた水をジュースに見立て、ジュース屋さんごっこが始まります。「ぶどうジュースです～。」「え？海ジュースじゃない？」青色から様々なイメージを持つ子どもたち。「うん、おいしい！」「またきてね～」とお店屋さんとお客さんになりきりながら、遊びを共有していました。

～友達の挑戦が自分の新たな遊びに～

今年から新登場した噴水マット！ホースをつないで水を流すと、噴水のように水が噴き上がります。保育者も子どもも思わず「わ～！」「すご～い！」と歓声が上がりました。すぐさま、触りにいくかと思いましたが、まわりの子どもたちは少し驚いた様子で噴水を見つめています。すると、“触りたい…でも少し怖い”といった様子でKくんが噴水に近づいていきました。「大丈夫！進んでごらんよ。」と保育者に勧められ、手を伸ばすKくん。手や体に水を浴びて、嬉しそうな表情を見せます。今度は、中央まで入ってみたり、通りすぎてみたりして恐怖感を払拭するように何度も試しては“水との対話”をしているようでした。

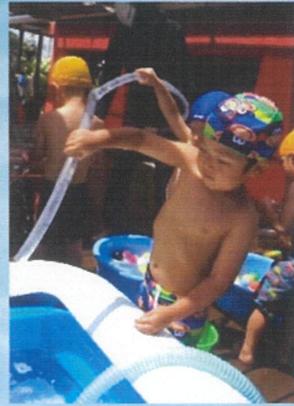
そんなKくんの姿を見ていたEさんも“私もできるかも！”と噴水マットに近づいていきます。友達と保育者の声援のなか、なんと噴水マットに寝転びます！「あっはは！」「気持ちよさそ～う！」あたりは笑い声であふれ返りました。端で見ていたFさんにも笑顔がこぼれます。子どもたちは、友達の楽しいことを見て、真似をしながら様々な遊びに挑戦していくと思います。私達はそんな場面のなかで一緒に楽しさを共有したり、安全に注意しながら子ども自身の考えや疑問に寄り添ったりして関わってまいります。



Mano3

はじめてのプール

初めてのプール遊びの日。「今日はお兄さんお姉さんと一緒に大きいプールに入るよ！」その言葉に子ども達の目は輝き「やったー！」と大喜びをしていました。楽しくて気持ちのいいプールですが危険もいっぱいです。プールでのお約束を改めてクラスで話すと「ちょっとこわいな・・・水遊びだけでもいい？」と言う子がいました。しかしいざプールを目の前にすると、「やっぱり入ってみたい!!!」と。みんなと一緒にプールに入ってみることにしました。少しずつ水を体にかけていき、ペンギンやワニなどの動物になりきってプールを堪能していきます。プールからあがると「あぁ～、さっぱりした!」。暑い日に思い切りプールに入り大満足なようでした。



お水の研究者

水遊びでは色水の色の变化や、泡の感触、様々な道具を使うなどそれぞれの世界で夢中になり楽しむ子ども達。

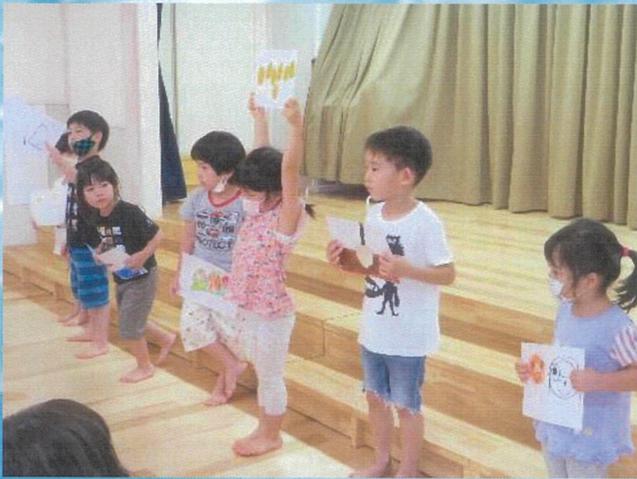
その中で、ペットボトルでホースに水を入れていくことに夢中になっている子がいました。始めは勢いよくホースに水を一生懸命入れていきました。細いホースの先にはなかなか水が入っていきません。またペットボトルで水を汲んできてホースに入れていき、ゆっくり、ゆっくり慎重に水を入れていきます。すると上手く水が入っていききました。その様子に、とても嬉しそうな表情になりました。自信がついたようで次に持って来たのはバケツでした。「こんなのも出来るかな!」と挑戦です。試した結果、「重たくてできないや!」と挑戦は失敗。しかしとっても満足そうな様子でした。



Nano4 Nano5

今日は何曜日？

梅雨が明けた途端に暑い日が続いていますね。
毎日のように天気を確認してはプールに入れるか聞きに来る姿からプールを楽しみにしている気持ちが伝わってきます。



最近ではみんなの大好きな『月火水木金土日のうた』をお集まりなどでよく歌っていることもあってか、曜日に興味関心を持っています。

「今日は木曜日だから、プールの日だね」「火曜日は音楽遊びだからプール入らない日だね」と話していました。プール前には自分たちで中身の確認。ワクワクが止まりません！



苦手だけど・・・好き！

プールは各クラス半分ずつ入っています。大胆に遊びたい子ども達もいれば、水が少し苦手な子ども達もいるのでプールの他に水遊びエリアを用意し、自身で選択して遊んでいます。顔に水がかかるのはあんまり好きではないAくん。でも大きなプールでみんなと一緒に遊びたい気持ちが勝り、プールに挑戦！少人数で行っていることもあり、苦手なことも忘れワニ歩きやペンギン歩きでは堂々と歩いたり、近くのお友だちと笑いあったり楽しんでいました。水のアーチをくぐる時はちょっぴり顔にかかるのを心配してか険しい表情を見せつつも、水のアーチをくぐれた後の表情はとても嬉しそう！水が苦手だけど、お友だちと一緒にいるプールは大好き！Aくんの中でいろいろな葛藤がありながらも、挑戦し、新たな発見をする姿に成長を感じました。



こんな使い方もあるよ！

スポンジで遊んだとある日。プールサイドにひたひたのスポンジを並べていました。何をやっているか尋ねてみると、「こうやって頭の上に乗せると頭が冷えて気持ちがいいんだよ」と、お友だちの頭に乗せてあげていました。乗せてもらったお友だちは、落とさずにワニ歩きや馬歩きで気持ちよさそうに泳いでいました。その後、スポンジでペットボトルやボールをゴシゴシ！「本当はこうやって使うんだけどね」とまるでお皿洗いをしているお母さんのようでした。こまめに水分補給をするよう心がけ、熱中症に注意しながら今月も楽しんで過ごしたいと思います。





8がつの ほけんだより



猛暑が続いています。暑いと体力が落ちて、食欲がわからないことや、つい冷たい物ばかりをたべてしまうことがあります。暑さに負けない体づくりをするためにも、しっかりとご飯を食べられる工夫をしましょう。

夏の過ごし方



夏は、生活リズムが乱れがちとなります。規則正しい生活ができないと体調を崩しやすくなるので、早寝早起きを心がけ、ご飯は3食きちんと食べましょう。また、暑いからといってクーラーのついた部屋で1日中過ごすのではなく、午前中の涼しい時間帯などを使って、できるだけ体を動かすようにしましょう。



外出の際には必ず帽子をかぶり、水筒やペットボトルとタオルを持っていくなどの熱中症対策をしましょう。外で過ごした後は水分を摂り、ゆっくり体を休めましょう。



プールや水遊びをする時は…

日焼け止めをつけ、帽子をかぶる、パラソルを使うなど、直射日光に当たらないようにしましょう。子どもと時間を決めて遊びましょう。水の中に入っている間も体の水分は奪われるので、こまめに水分補給を行いましょう。



寝冷えに 気を付けましょう

クーラーを使用する時期となり、冷やし過ぎなどによる寝冷えを起こします。クーラーや扇風機は様子を見ながら止めるようにしましょう。また、パジャマは汗を吸収しやすい綿やタオル地の物を着せ、上着はズボンの中に入れます。腹巻きを着けるのもよいでしょう。寝る時は、お腹にかけ物しましょう。



8月7日は鼻の日です

鼻について掲示しましたので御覧ください。幼児のクラスでは鼻についてのお話をする予定です。ご自宅でも鼻のかみ方や鼻血の止め方など、お子さんと練習をしてみてください。鼻の症状は別の病気の原因となります。また、症状があると水遊び・プールが出来ないことがあります。早めの受診をお願いします。



8月の予定

発育測定 8月7日(火)

0歳児健診は未定の為、日時が決まり次第、お知らせします

Lunch & Snack time

食育だより

いよいよ夏本番！太陽がまぶしく輝き、せみの鳴き声が元気に響く夏がやってきますね。暑い日はこれからもまだまだ続きそうです。夏バテや食欲不振になりがちですが、朝昼晩の三食をしっかり食べて、水分をとって良質な睡眠を心掛けましょう。毎日積み重ねていくことで、体調を整えることができ、暑さに強い体になっていきます。



おいしく食べて熱中症予防♪

暑い夏は、水分補給だけでなく普段の食事からも熱中症対策を心掛けましょう！

カリウム

バナナやじゃがいもにも多く含まれています。日常的にとることで、脱水症状を軽くしたり、回復を早めてくれます♪



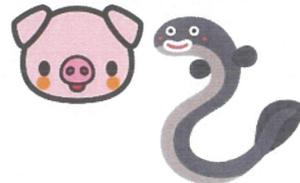
ビタミンB1

豚肉やうなぎに多く含まれています。疲れにくい体づくりの手助けをしてくれます♪



クエン酸

酢やレモン、梅干しなどに含まれ疲労回復に効果があります。料理を傷みにくくする働きも今の時季、嬉しいですね♪



今が旬！ このコーナーでは旬の食材を紹介していきます。

わたしは
なすちゃん



わたしはなすちゃん！
わたしの特徴はカリウムが豊富に含まれているのよ。カリウムには体の熱を逃して、体内の余分な塩分や水分などのいらぬものを出してくれる働きがあるの。その他にも皮にはポリフェノールと同じ種類の「ナスニン」が含まれているのよ。ナスニンは体内のたんぱく質などを酸素による酸化から守る働きがあるの！夏の強い紫外線からお肌を守ってくれる嬉しい効果があるのよ！
夏から秋にかけて食べてほしい食材だわ！
今月は、6日、16日、20日、23日の給食に出るからチェックしてね！！

美味しいナス選びの基本

- 1 へたの切り口がみずみずしいこと！
- 2 皮にハリとツヤがあること！
- 3 表面に傷がないか見てね。



ある秋の嵐の夜、わたしは一歳八か月になったばかりの甥のロジャーを毛布にくるんで、雨の降る暗闇のなかを海岸へ降りて行きました。／海辺には大きな波の音がとどろきわたり、白い波頭がさけび声をあげてはくずれ、波しぶきを投げつけてきます。わたしたちは、真っ暗な嵐の夜に、広大な海と陸との境界に立ちすくんでいたのです。／そのとき、不思議なことにわたしたちは、心の底から湧きあがるよろこびに満たされて、一緒に笑い声をあげていました。

『センス・オブ・ワンダー』より レイチェル・ルイス・カーソン (1907~1964)

今年の梅雨は、平年の降水量の1.7倍と、昨年にも増してたくさんの雨が降りました。大人にとっては、出勤前に服がびしょ濡れになり本当に疎ましく厄介な雨でした。さて、ではこの雨は子ども達にはどんな感じなのでしょう。

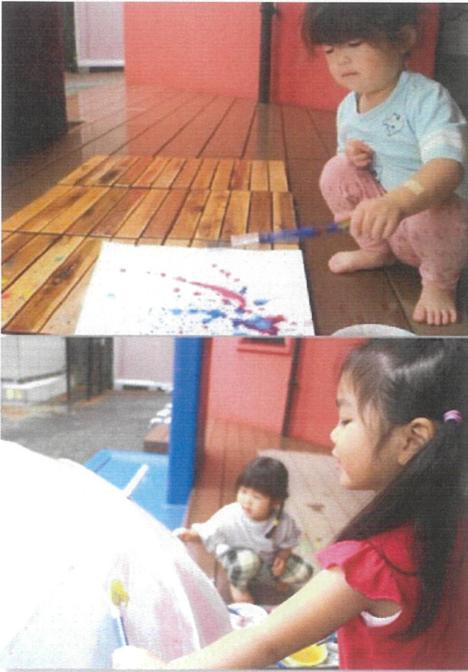
Atelier



「再び < センス・オブ・ワンダー >」

昔から「子ども騒げば雨が降る」といった身体と天気まつわることわざがあり、低気圧の影響で体内にアドレナリンが増え、自律神経が活発になることで気持ちも興奮気味になるのだとか。そう言えば確かに子どもは大人の願いとは裏腹に、雨の日には傘をクルクルと回し、水溜りがあればドヤ顔で突入して行きます。

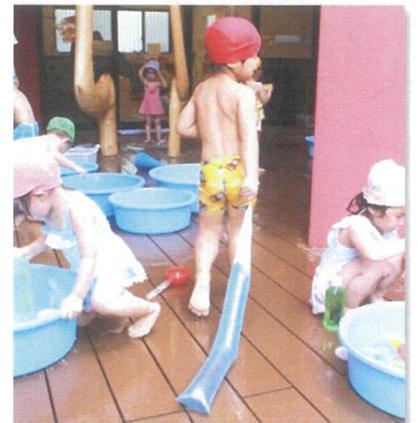
梅雨明けの数日前、空からはまだ結構な雨粒が落ちてくる横で、2歳ピコ組の子ども達は白い画用紙に「絵の具の雨」を降らせました。そしてポツポツと雨音が弾むカサの上にも、絵の具を垂らしたり塗ったりを楽しみました。描いても描いても空から落ちてくる雨粒が絵の具を流します。子ども達は雨の音や匂い、肌に絡みつく湿り気や水たまりの波紋などを直に感じながら、夢中で絵の具遊びを楽しみました。



「絵の具の雨」の活動から2週間後。頭の上にはスッキリと晴れた青空。あの曇天がウソのような梅雨明け、そして子ども達の大・大・大・大好きな水遊びの始まりです。

そこで、水や赤・黄・青の色水を入れたビニールのカサ袋を準備しました。Kくんはお気に入りの青の色水が入った袋を、水遊びの最後まで放しません。おやおや、こちらでは袋の上から水の手触り確かめ…水

を切る実験でしょうか!?



雨水も水道水も色水も「水」、滴る水もあれば流れる水に溜まる水。この夏も多様な「水」との関わりを経験し、様々な感性を働かせ言葉にならない豊かな実感を楽しみ、探究する子ども達の姿に出会うことができるでしょう。

冒頭の引用文は、環境問題を告発し歴史を変えた一冊と言われる『沈黙の春』の著者レイチ

エル・カーソン（生物学者）が、甥のロジャーと自然と共に過ごした経験をまとめた小さな物語です。日本語訳も出版されている60頁にも満たないこの物語は、自然とのふれ合いやそこで育まれる感性の大切さについて気付かせてくれる言葉にあふれ、私のにとっておきの宝物となっています。（文責：一然）

#ユナタン=2

2021年8月 片山喜章

魔法の言葉

ある園の2歳児クラスでの出来事です。ポール（仮称）は、月齢も高く、言葉数も多く、自分からトラブルを起こすことは滅多にない男児です。その日もお気に入りのブロックで彼なりに立体を組んでいました。L字型から凹型に、何やら素敵な箱かビルが出来そうです。その様子を横でジョン（仮称）がじっと見ていました。おそらく自分も同じ遊びがしたくなったのか、ポールのほうに寄って来ました。ジョンは月齢が低くまだまだ言葉で思いを表現できません。活発なポールと言葉よりどちらかと言えば手の方が出てしまうジョンの2人は、ふだんからいっしょに遊ぶ場面が多く見られます。不思議な気がします。じっくり観察していると、彼らは兄と弟のような、つまりポールが主導でジョンはポールからいろいろ学んでいる、そんなふうに見えることがよくあります。

その日、ポールはたくさんのブロックを使っていました。ポールのブロック遊びが気になって寄ってきたジョンに対して、ポールは突然「だめ〜！」とジョンを寄せ付けまいと大声を出しました。ポールは「ジョン君、あっち」と言葉で自分の気持ちを伝えて自分の使っていたブロックとテリトリーを守ろうとしました。ジョンはそんなことはお構いなしにポールのテリトリーに侵入してきました。「ジョン君、だめ〜、あっち」とポールの声。するとジョンはポールを押し倒してしまっただけです。そしてすかさずポールの目の前にあるブロックをいくつか掴みました。

一瞬の出来事で止めようもありませんでした。ジョンは自分が手にしたブロックの1つをポールに手渡そうとしました。きっといっしょに遊びたかったのでしょう。ジョンに倒されたポールは、泣きはしませんでした。その場にブロックを置いてジョンから離れるようにさっさと壁際の棚に向かっていきました。そしてそのまま黙って立ち尽くしてしまいました。

このようにポールが遊んでいるところにジョンがやってきて、いっしょに遊ぼうとしても、結局、遊びを壊すような場面は、これまで何度かありました。そして、しばらく壁際で固まっていたポールは急にジョンのところに駆け寄り、ジョンを押し倒してしまいました。ジョンは、ふいを食らった感じで、泣いたり怒ったりせず、

ただ茫然とポールの顔を見つめていました。ポールの方は、何かしら悪い事をしたような気まずい表情になり、花子先生の方をじっと見つめます。花子先生は何も言いませんでしたが、気持ちのなかでは、「いま、ポールはジョンに“ごめんなさい”が言えそうな気がする」という願いを表情に浮かべて、ポールに伝えているようでした。花子先生の気持ちを感じ取ったポールは、戸惑いとも気まずさとも何ともいえないような表情になり、その場で下を向いてしまいました。ジョンだってポールを最初に押し倒したのに！ 花子先生、なぜ、ポールにだけ“ごめんなさい”の言葉を期待するの？ 不思議な気がします。この場面を見ていた他の先生たちからもポールに“ごめんなさい”の言葉を期待する表情がありました。

ポールとジョンのいるあたりの空気は重く澁んでいます。そのとき、少し離れた場所に居た百合子先生から「仲良しなんだから」という言葉が飛んできました。それだけです。「仲良しなんだから」という響きは瞬く間に室内に拡がり、ポールは急に笑顔になりジョンをギュ〜とハグし、ジョンも嬉しそうにギュ〜とし返して、そのまま2人は座り込んで、彼らなりのやり方でブロック遊びに興じることになりました。言葉の意味は理解できなくても、言葉に宿る意味は感じ取れるのですね。

花子先生は、このときのことを振り返ります。ジョンがポールを倒したのは、「いっしょに遊ぼう〜」の非言語的な表現で、ポールも実はそれをわかっていたが自分1人で遊びたい思いの方が強かった。ポールがジョンを倒したのは、良くないことだとわかっていた。だからすぐに叱られまいかと保育者の方を見た。しかし、ポールの気持ちを考えると、そこで“ごめんなさい”という言葉に期待するのは、良くない意味での保育者気質。「ごめんなさい」を言うなら、ポールではなくて保育者（花子先生）がポールに成り変わってという方が良い。2歳児にとって、それが保育者の役割としての「トラブルの仲裁行為」と解せるかもしれない。

しかし、「迷い」「葛藤」満載のあの場のどんより重たい空気を一気に払いのけたのが百合子先生の「仲良しなんだから」というたった一言でした。

保育者の言葉は、多種多様、多彩多岐で、それによって、子どもたちの気分や場の状況を大きく変えます。「指示したり命令する言葉」、「お願いしたり誘ったりする言葉」、これらの言葉は一方通行です。「仲良しなんだから」はなんでしょう。この場面では、まさに、おひさまのような言葉でした、ね。

